

# 04.八木 かずま 一馬さん

## 就業のきっかけ

大学2年生の時に、苫東・和みの森※で行われている、地域の親子を対象とした自然体験や森の手入れのイベントを、ボランティアとしてお手伝いするようになりました。

そのうちに、身近な自然の魅力を多くの人に伝えることで北海道のすばらしさを知ってもらい、自分たちが住んでいる所をもっと良くできるのではと思うようになりました。

一次産業に就くことも考えたのですが、自然の中ではこんなことができるんだといった「見せる」仕事がしたいと思い、2018年4月から苫小牧市の地域おこし協力隊に採用され、苫東・和みの森運営協議会事務局を任されることになりました。

※苫東・和みの森…2007年に行われた全国植樹祭の跡地

## 仕事のやりがい

年間いくつもの企画を行っていますが、子どもたちは用意したメニューはどんなことでも楽しんでくれるので、その時限りの「良かった！楽しかった！」で終わってしまいがちです。

しかし、親御さんから、子どもがこんなことができるようになって驚いたとか、具体的な感想を聞いた時は、こちらが伝えたいことが伝わっているんだという実感が湧いてやりがいを感じています。

私としては、派手なアクティビティよりも、木を切って薪を作ってたき火をして、その火で煮炊きするような体験を通じ、森と暮らしのつながり、また、活動をともしる仲間とのつながりが生まれてくれればいいなと思います。



【子どもたちと間伐材で炭を作る】

## 仕事の大変なところ

一つの企画を立案して実行する際に、関係各所との調整、PR、収支や報告等といった細々とした事務を一連で任されることが多いのですが、事務作業が不慣れなので大変です。

自分のやりたいことを面白く具現化することがどれだけ大変なのかがわかってきたところです。

これはボランティアとして関わっていた時には見えなかった部分ですが、これから磨いていきたいですね。



苫小牧市地域おこし協力隊  
(苫東・和みの森運営協議会)

〒053-0047  
苫小牧市泉町1丁目5-6

年齢 22歳  
勤続年数 1年

## 仕事内容

苫小牧市地域おこし協力隊として和みの森運営協議会事務局に勤務し、間伐などの森林整備や市民向けの自然体験イベントの企画・運営を行っています。定期的なものは、和みの森で行う「月に一度は森づくり」で、薪づくり、クラフトづくり、森のようちえんなどの活動を行っています。

また、OJT研修として、いぶり自然学校の業務も担当しています。



【イベントで薪づくり体験を手伝う】

## 胆振の魅力

地域おこし協力隊の採用を機に札幌から苫小牧に移り住みました。苫小牧は道内では都会ですが、ご近所づきあいの人々との距離感が意外と近く、ほどほど田舎っぽくていいなと思います。

## 林業に興味を持っている方へメッセージ

ある時、木をチェーンソーで切ってみたら素直に面白いなあと思いました。

私は林業を生業としていないわけではありませんが、逆に森や木の魅力を広い視点で、また、「木を切ったら面白い」といった小さな発見を蓄積し、子どもたちに伝えることができるのではないかと考えています。そんな活動の先に、将来子どもたちの職業の選択肢として林業があるのだとすれば嬉しいですね。

森をフィールドに活動するという事は、樹種や木の性質はもとより動植物に関する知識が必要なので目下勉強中です。木の伐採現場など「これぞ林業！」という現場も見てみたいですね。